

2018年8月17日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

Rapid Response System(RRS) データレジストリーに関する多施設合同研究

### 2. 研究責任者

海南病院 麻酔科 三宅健太郎

### 3. 研究の概要

欧米では RRS の導入効果に関する有効性に関する報告は、RRS の導入によって院内心肺停止発生数の減少、心肺停止症例の死亡率の減少、有害事象発生率の減少などが数多く報告されています。徐々に RRS を導入している施設が多くなっている本邦において、データを収集し、日本独自のエビデンスを確立していくことが非常に重要となります。本研究は、日本において RRS の普及を更に加速するため、日本独自のエビデンスを示すことを目的としています。

### 4. 研究方法

#### ①対象となる患者さん

Rapid Response System 導入後の起動症例

承認後～平成 35 年 7 月 31 日

#### ②使用する試料等

カルテ情報：主に、身長や体重などの基本情報、体温・血圧・心拍・呼吸数等のバイタルサイン、Rapid Response Team の介入内容、転機等

### 5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### 6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 麻酔科 三宅健太郎

電話：0567-65-2511（代表）